



平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メディネット
コード番号 2370 URL <http://www.medinet-inc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 佳司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 原 大輔

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

TEL 045-478-0041

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	543	△26.6	△173	—	△163	—	△165	—
23年9月期第1四半期	740	△6.4	52	△62.9	36	△76.7	5	△96.2

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 △162百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	△225.87	—
23年9月期第1四半期	8.91	8.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	7,667	5,323	69.4
23年9月期	8,024	5,486	68.4

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 5,323百万円 23年9月期 5,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,210	△16.1	△320	—	△320	—	△325	—	△443.53
通期	2,650	△0.9	△400	—	△400	—	△410	—	△559.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年9月期1Q	732,755 株	23年9月期	732,755 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	― 株	23年9月期	― 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年9月期1Q	732,755 株	23年9月期1Q	659,929 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。
・決算補足説明資料は本日平成24年2月7日（火）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）において当社グループは、前連結会計年度から引き続き、主力サービスである免疫細胞療法総合支援サービスを本格的な成長軌道に乗せるべく、市場の顕在化及び拡大に努めております。医療チャネルの拡充に向けては、患者の治療選択プロセスにおいて実質的な決定力を有する医師・医療機関に対し、研究開発の進展とその成果を踏まえた訴求力の高い学術営業活動を展開するとともに、患者及び患者家族に向けては、各種メディアやWebサイト、セミナー活動等による情報提供に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間では、平成23年10月に九州大学先端医療イノベーションセンターに対して免疫細胞療法総合支援サービスの提供を本格的に開始するなど、免疫細胞療法総合支援サービスの拡大のための取組の成果は着実に表れてきているものの、まだ全体としては、前連結会計年度後半に減少した当社グループ契約医療機関における細胞加工数の推移に大きな変動はなく、また、患者及びその家族に向けた病院広報活動企画・支援等のサービスについては、広報企画の受注の減少により売上が減少しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は543,119千円（前年同期比196,997千円減、26.6%減）となりました。

研究開発活動については、前連結会計年度から引き続き、治療効果向上につながる新規技術の早期実用化を目指し、「免疫細胞療法に係るEvidenceの強化」、「より治療効果の高い新たな免疫細胞療法に係る技術の開発」、「細胞加工プロセスの大幅な効率化と細胞輸送技術の強化」を目標として、より出口に近いテーマにプライオリティを置いて推進しております。当第1四半期連結累計期間においては、平成23年10月に、アジア・パシフィック地域を中心とした海外市場への事業展開に向けて、規制当局の承認に必要な樹状細胞ワクチン^[i]開発に係る「前臨床試験データ」を取得するため、デューク大学メディカルセンター（米国ノースカロライナ州）と、樹状細胞ワクチン技術開発に係る委託研究契約を締結いたしました。また、平成23年11月には、東京大学医学部附属病院と共同で、再発・進行がんの患者を対象として、HSP105^[ii]抗原ペプチド^[iii]を用いた樹状細胞ワクチンの臨床試験を開始いたしました。その他の研究開発活動を合わせ、当第1四半期連結累計期間の研究開発費は、前第1四半期連結累計期間に比べて15.0%増加しております。営業活動としては、医師・医療機関をターゲットとした学術営業活動及び、一般向けの広報活動を継続的に推進しておりますが、広報企画を見直したこと等により、当第1四半期連結累計期間の販売費については、前第1四半期連結累計期間に比べて10.2%減少しております。また、平成23年10月に、基幹システムの入替えを行ったことから、同システムが安定的に稼働、運用されるまでの間、システムサポート費用が増加したこと等により、一般管理費については、前第1四半期連結累計期間に比べて12.7%増加しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、467,257千円（前年同期比29,525千円増、6.7%増）となり、営業損失は173,952千円（前年同期は営業利益52,951千円）となりました。

その他、外貨建て投資有価証券の円換算等による為替差益7,826千円等の営業外損益により、当第1四半期連結累計期間の経常損失は163,388千円（前年同期は経常利益36,493千円）となりました。また、本社建物の減損処理をしたことによる減損損失2,135千円を特別損失に計上したこと、法人税、住民税及び事業税3,790千円、法人税制の改正等による繰延税金負債の減少により法人税等調整額△3,805千円を計上したことから、四半期純損失は165,509千円（前年同期は四半期純利益5,879千円）となりました。

[i] 樹状細胞ワクチン

樹状細胞は、がん細胞に由来するたんぱく質を貪食し、それをがん抗原としてTリンパ球に提示することにより、がん細胞を特異的に攻撃する細胞傷害性T細胞（CTL）を誘導する。樹状細胞ワクチンは、この働きを利用した免疫細胞治療の一種で、患者自身の末梢血中単球から樹状細胞を分化、誘導し、その樹状細胞にがん抗原を導入、提示させた上でワクチンとして投与することで、患者体内でCTLを誘導し、がん細胞を特異的に攻撃させようとする治療技術。

[ii] HSP105

HSP105（Heat Shock Protein 105）は、熱などの何らかの要因によって体内で生産されるストレスタンパク質に分類される。膵がん、大腸がん、乳がん、食道がん等の多くのがんを高発現するタンパク質で、正常細胞では精巣での発現が確認されている。腫瘍組織にHSP105が高発現していることが確認された患者に対しては、HSP105特異的な免疫細胞を誘導することで抗腫瘍効果が期待できる。

[iii] HSP105抗原ペプチド

HSP105タンパク質を構成するアミノ酸配列のうち、特にがん抗原特異的CTLが強く反応する部分を指す。このペプチドを用いることにより、CTLを効率的に刺激・増殖させることができる。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて357,329千円減少し、7,667,050千円となりました。流動資産は4,587,596千円と前連結会計年度末に比べ1,155,811千円減少しており、主な要因は現金及び預金の減少477,015千円、売掛金の減少82,010千円、有価証券の減少599,952千円です。固定資産は3,079,454千円と前連結会計年度末に比べ798,482千円増加しており、主な要因は長期貸付金の増加700,000千円及び長期前払費用の増加93,575千円によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて195,021千円減少し、2,343,354千円となりました。そのうち流動負債は1,179,779千円で前連結会計年度末に比べて176,592千円減少しております。主な要因は買掛金の減少43,026千円及び未払金の減少140,666千円です。固定負債は、前連結会計年度末に比べて18,429千円減少し、1,163,574千円となりました。主な要因は繰延税金負債の減少8,452千円、資産除去債務の減少6,082千円です。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純損失165,509千円等により前連結会計年度末に比べて162,307千円減少し、5,323,696千円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の68.4%から69.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループでは、当社グループ契約医療機関の新規治療開始者数及び治療数の拡大による強固な事業基盤確立を目的として、大学病院をはじめとした地域中核医療機関等との新しい取り組みを推進し、新規契約医療機関の獲得と当社グループ契約医療機関と地域中核医療機関等との医療連携体制の構築の一層の拡大に注力してまいります。

このような施策のもと当社グループは、九州大学先端医療イノベーションセンターに対する免疫細胞療法総合支援サービスの提供を本格的に開始し、また金沢大学附属病院のトランスレーショナルリサーチセンターに新設された細胞加工施設の運営管理業務を受託し金沢におけるサービスの拡大を図るなど、引き続き売上の拡充に努めてまいります。平成23年11月8日に公表した連結業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,858,684	1,381,668
売掛金	551,326	469,316
有価証券	2,999,914	2,399,962
原材料及び貯蔵品	132,481	122,984
その他	201,000	213,663
流動資産合計	5,743,407	4,587,596
固定資産		
有形固定資産	629,658	588,822
無形固定資産	209,232	235,901
投資その他の資産		
長期貸付金	—	700,000
長期前払費用	699,920	793,496
その他	742,159	761,233
投資その他の資産合計	1,442,080	2,254,730
固定資産合計	2,280,971	3,079,454
資産合計	8,024,379	7,667,050
負債の部		
流動負債		
買掛金	137,100	94,073
短期借入金	800,000	800,000
未払法人税等	20,818	8,827
賞与引当金	52,072	40,616
資産除去債務	2,700	8,188
その他	343,681	228,073
流動負債合計	1,356,372	1,179,779
固定負債		
新株予約権付社債	1,000,000	1,000,000
資産除去債務	76,793	70,711
その他	105,209	92,862
固定負債合計	1,182,003	1,163,574
負債合計	2,538,375	2,343,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,631,011	3,631,011
資本剰余金	5,043,571	5,043,571
利益剰余金	△3,244,932	△3,410,441
株主資本合計	5,429,650	5,264,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,353	59,554
その他の包括利益累計額合計	56,353	59,554
純資産合計	5,486,003	5,323,696
負債純資産合計	8,024,379	7,667,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	740,117	543,119
売上原価	249,433	249,814
売上総利益	490,683	293,305
販売費及び一般管理費	437,732	467,257
営業利益又は営業損失(△)	52,951	△173,952
営業外収益		
受取利息	1,159	3,818
為替差益	3,075	7,826
その他	706	1,225
営業外収益合計	4,942	12,870
営業外費用		
支払利息	1,586	1,699
株式交付費	18,832	—
設備賃貸費用	895	522
その他	84	84
営業外費用合計	21,399	2,306
経常利益又は経常損失(△)	36,493	△163,388
特別損失		
減損損失	—	2,135
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	20,630	—
特別損失合計	20,630	2,135
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	15,863	△165,524
法人税、住民税及び事業税	2,235	3,790
法人税等調整額	7,748	△3,805
法人税等合計	9,983	△14
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	5,879	△165,509
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,879	△165,509

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	5,879	△165,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,763	3,201
その他の包括利益合計	△6,763	3,201
四半期包括利益	△884	△162,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△884	△162,307
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。